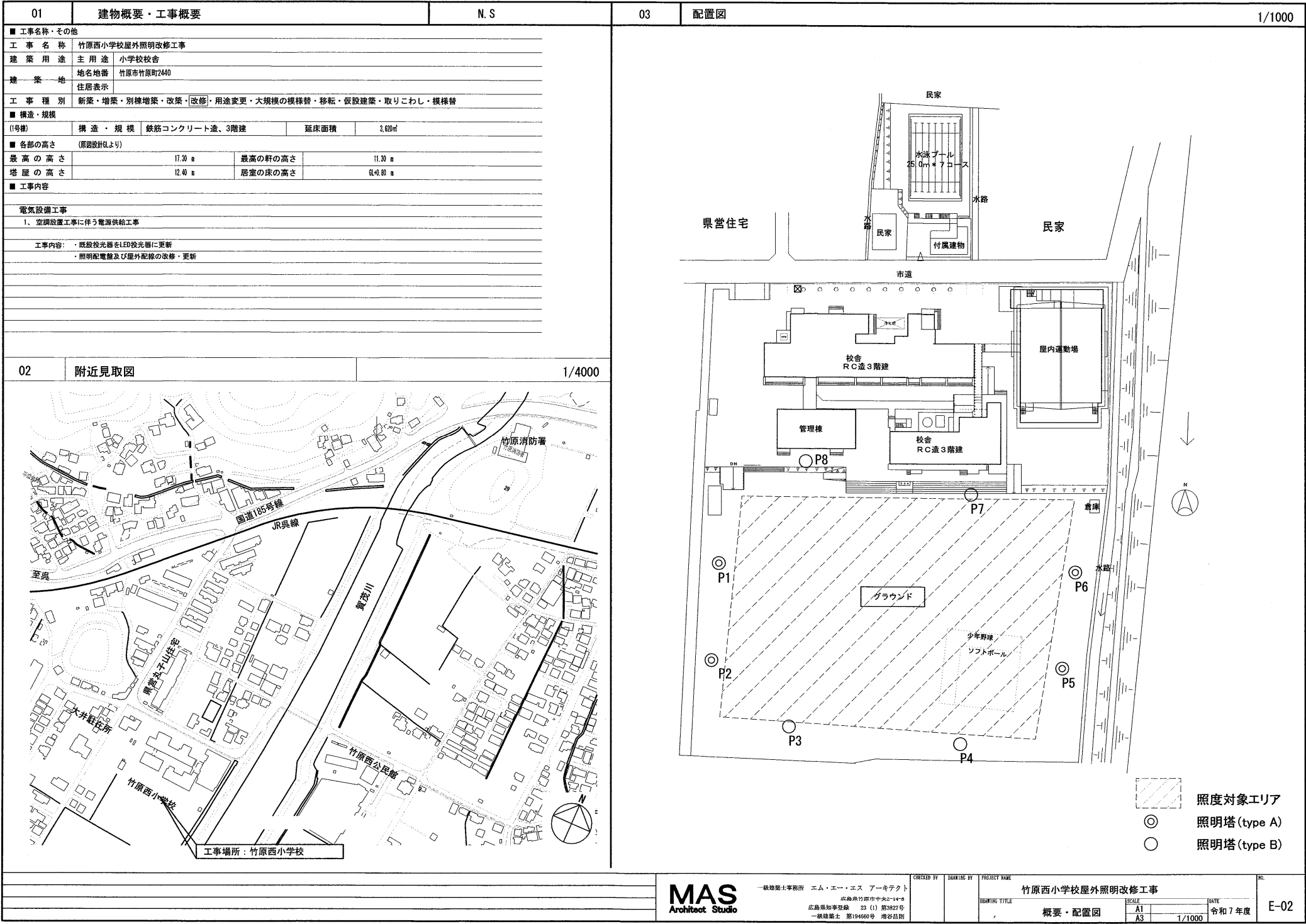
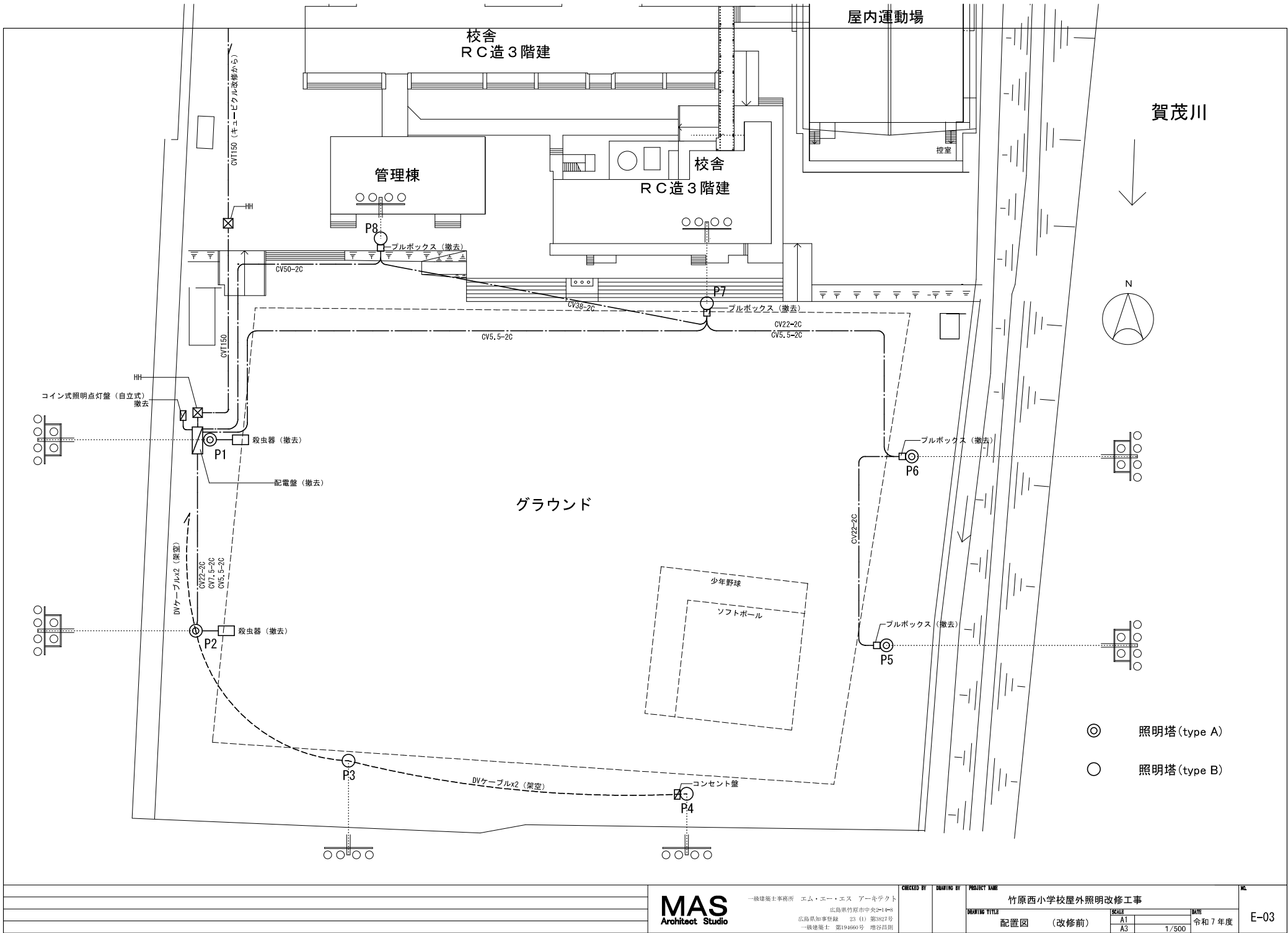
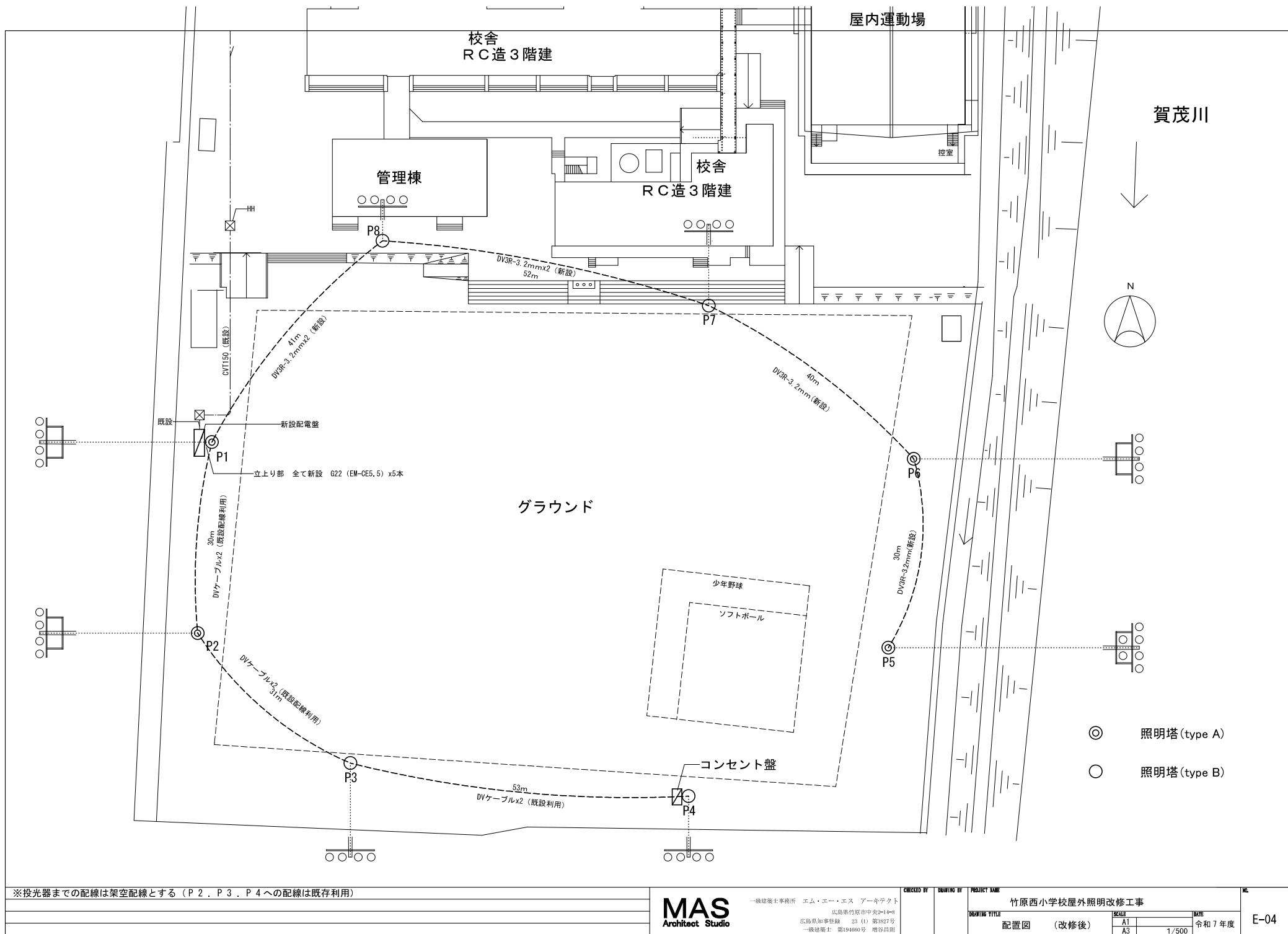
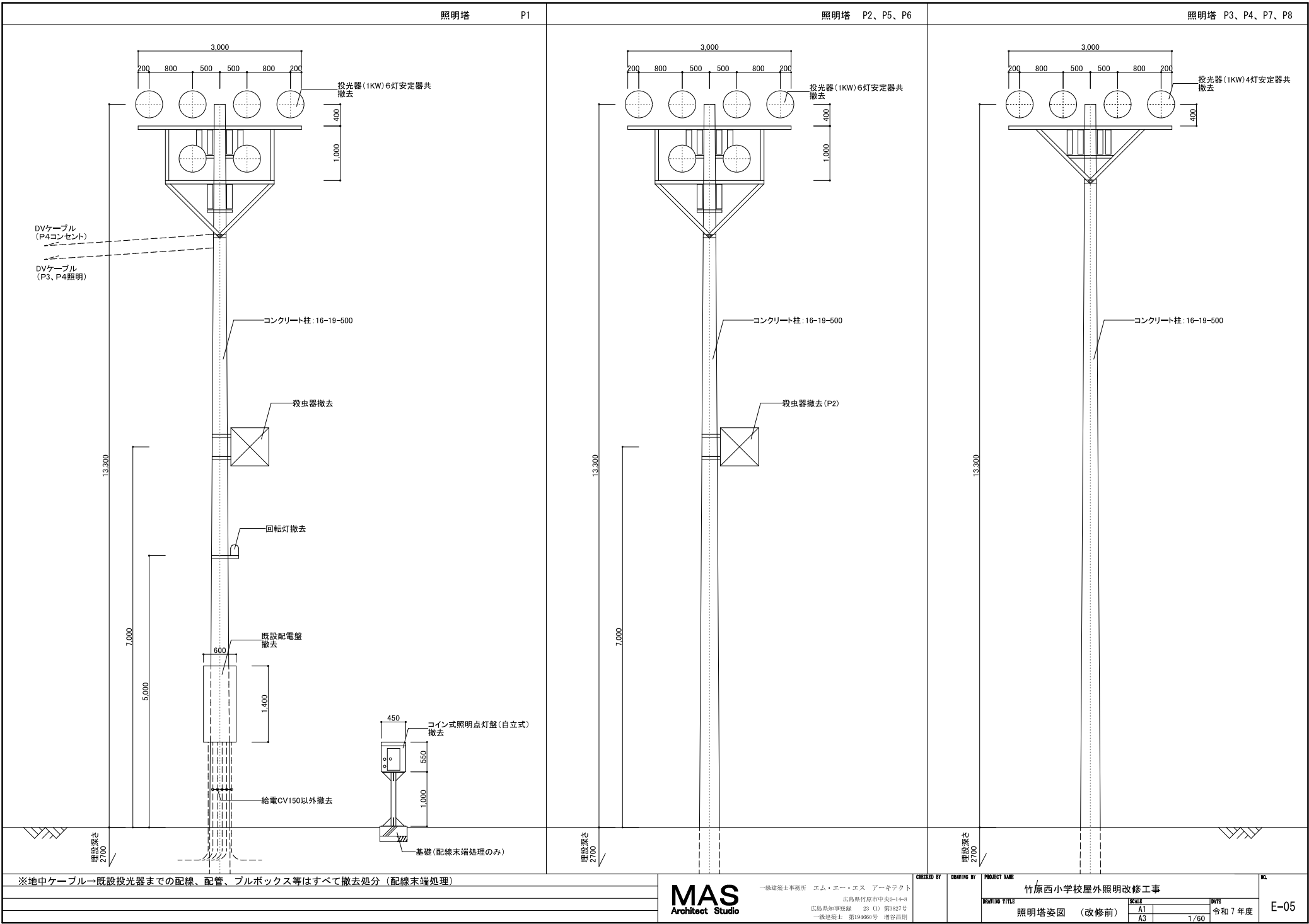








※投光器までの配線は架空配線とする（P 2 . P 3 . P 4 への配線は既存利用）				MAS Architect Studio		一級建築士事務所 エム・エー・エス アーキテクト		CHECKED BY	DRAWING BY	PROJECT NAME		DATE	E-04	
						広島県竹原市中央2-14-3		竹原西小学校屋外照明改修工事						
						広島県知事登録 23 (1) 第3827号		DRAWING TITLE		SCALE				DATE
						一級建築士 第194660号 増谷昌則		配置図 (改修後)		A1 A3 1/500				
										令和7年度				



公共建築工事標準仕様 分電盤製作仕様書

準拠規格

国土交通省大臣官庁営繕管理課監修・公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）、及び公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）・令和4年版に準拠します。これにない項目については、JIS、JEM、JEC、電気設備技術基準等の公的基準規格を適用し、これ以外は弊社製作仕様とします。但し、現場監督職員の承認・指示に依るものは、支障のない限り上記に優先されます。

1. 7. 2 構造一般
1. 7. 3 キャビネット

<構造仕様>

イ) 分電盤キャビネット

主要部材

構 成 部	標準厚さ (mm)	材 質
ボ ッ ク ス	t1.6以上	鋼 板
前 面 枠 及 ビ ド ア	同 上	同 上
保 護 板	同 上	同 上
取 付 板	同 上	同 上

注) 鋼板は、SPHC、SGHC等を使用します。
SUS鋼指定の場合は、t1.2mm以上とします。
取付板にめっき鋼板を使用する場合は、塗装致しません。

- ロ) ハンドルは図中に示します。
ハ) 扉面ホルダーは、透明遮熱性樹脂板を使用し、原則としてドア扉面に取付します。
但し、取付スペースがない場合は、この限りではありません。
ニ) 壁名板は、施工者銘板、製造者銘板の取付は、図中に示します。（壁名板はドア表面の上部取付。）
ホ) ガラス法は本基準を参考としますが、施工条件に依り寸法対応を行います。
ヘ) 接地端子はM8ボルトを2ヶ取付します（縦部緑色）。又、漏れ電（2漏れ以上）は漏れ取りを取付します。
ト) 分岐名板は、CH（カードホルダー）を取付します。
チ) CHカードに記入する場合の文字は、タイプ打ち又は、フープロとします。
リ) 回路仕様書（セパレータ）は、t3.0合成熟鋼板とします。
リ) 分岐ブレーカには回路番号を取付します。
メ) プレーカのスペース部分には、スペースユニット又はブラックプレートを取付します。
ム) ドアに表示灯類、操作機器を取付する場合は、扉面の充満部キャップ等で保護します。
ミ) 扉裏板は、図面に記載なき場合、開閉方式を基本とします。
ム) ELB用接地端子は、漏れ指示分については取付致します。
カ) 扉外自立形の場合、開いたドアは固定出来る構造とします。

<塗装仕様>

塗 装 部 分	標 準 色
壁 表 面 色	ボックス・ドア チャンネルベース □22-90B(2.5Y9/1準参考) 5分ツヤ □壁は日建工の色見本発行年表記を要します
壁 内 面 色	同 上
カバー、保護板	同 上

1. 7. 4 通電部 (指定色の場合は図中に記入します)

<配線及び色別>

イ) 配線仕様

回 路 の 種 類	電線被覆色	電線太さ	主な電線種類
低 圧 主 回 路	黒	—	EM-IE H1V
制 御 回 路	交流 黒	t1.25mm	EM-IE H1V
(48V以下(外動力回路は除く)) 直流	黒	t1.25mm	EM-IE H1V
計 量 用 変 圧 器 次 次 回 路	黒	2mm	EM-IE
変 圧 器 次 次 回 路	黒	2mm	EM-IE
接 地 線	黒	—	EM-IE

※EM-IEでは配線図面記載所は、EM-LMFCを使用します。
EM-LMFC:色(黄)許容温度110℃

ロ) 主回路の色別及び配列

電線は、端末をビニールキャップにて色別を施します。
銅線はメッキを施し、銅線の一部に色別シールを貼り付けします。

線 帯 ・ 電 線 の 色 別	配 列
第 1 相 第 2 相 第 3 相 中性線	左右の場合左から 上下の場合上から 逆左の場合逆左から
第 1 相 200V 赤(赤)	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 2 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 3 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 4 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 5 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 6 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 7 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 8 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 9 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 10 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 11 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 12 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 13 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 14 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 15 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 16 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 17 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 18 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 19 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 20 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 21 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 22 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 23 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 24 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 25 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 26 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 27 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 28 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 29 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 30 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 31 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 32 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 33 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 34 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 35 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 36 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 37 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 38 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 39 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 40 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 41 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 42 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 43 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 44 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 45 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 46 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 47 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 48 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 49 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 50 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 51 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 52 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 53 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 54 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 55 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 56 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 57 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 58 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 59 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 60 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 61 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 62 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 63 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 64 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 65 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 66 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 67 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 68 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 69 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 70 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 71 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 72 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 73 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 74 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 75 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 76 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 77 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 78 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 79 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 80 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 81 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 82 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 83 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 84 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 85 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 86 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 87 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 88 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 89 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 90 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 91 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 92 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 93 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 94 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 95 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 96 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 97 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 98 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 99 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日
第 100 相 200V 赤 黒	赤 (黒) 日 赤 (黒) 日

注1) 三相回路又は三相3線式回路より分岐する回路は、分岐前の色別とします。
注2) 右左、上下、逆左、逆右は、正逆左逆右とします。
注3) 分岐ブレーカの電線と配線に依り、上記と異なる場合もあります。
注4) 三相3線式300V回路は、非接地方式としています。

ハ) 開閉

母線導体は、メッキを施します。
開、遮断装置は下表を準拠とします。但し、開等の途中にボルト孔の開があっても、その部分の銅面積の減少が1/2以下である場合は、これを考慮して採用可とします。
開等の温度上昇率が、65℃(最高許容温度105℃)を越えない場合は、下表に依りません。

電線種別<mm>	125MT	125MT-250MT	250MT-400MT	400MT-630MT
電線種別<mm>	3.0MT	2.5MT	2.0MT	1.75T

ニ) 母線開等の太さ

電 流	厚み (t) x 幅 (mm)	形 状
100A	t3x12、t3.2x13	母線標準厚は、2.5mmピッチ
200A	t5x20	分岐標準厚は、2.5mmピッチ
400A	t8x30、t6x40	分岐標準厚は、2.5mmピッチ
600A	t15x30、t10x40	分岐標準厚は、2.5mmピッチ

主幹用スジには、しめ付分岐用スジを準拠とします。
分岐標準厚は片側M8(1P)の場合同様に配置とします。

電 流	厚み (t) x 幅 (mm)	形 状
100A	t3 x 18	
200A	t3 x 25	
400A	t3 x 80	

- ホ) 分岐回路の接地線を接続する端子又は銅線を設けます。
分岐回路毎に1端子又は1本のねじを設け、分岐ブレーカの負荷側導体に設けます。

1. 7. 5 制御回路等

イ) 制御回路

制御回路には、線番を付したマークチューブを圧着端子キャップとして取付します。
配線方式は、ビニルタクト配線又は、実線式とします。

ロ) 圧着端子

主回路は圧着型を使用します。但し圧着の端子構造等により、これより異なる場合は弊社標準とします。
制御回路はY型を使用します。
主回路1次側の圧着端子及び、端末色別キャップを同様にします。（取付箇所指示のみ）

1. 7. 6 器具類

- イ) 単相3線式回路に設ける配線用遮断器及び漏電遮断器は、中性線欠相保護機能付とします。
ロ) 絶縁変圧器は、1kV超過はJEC-2200準拠とします。
ハ) 制御回路に用いる回路保護装置は、その回路に必要な遮断容量を有する JIS C 6575「ミニチュアヒューズ」によるヒューズを使用します。

- ニ) 予備品: ヒューズ類は、使用数の20%以上、最低1ヶ。(LED、SPD用分岐ヒューズは除く)

製作注記事項

1. 表示灯はLED球を使用。
2. 接地について
イ) 列架時の処理: 列架における機器アース同士及びELBアース同士は各々、すべて接続。
ロ) 各アースの表示: 図中に黒文字ラベルにて、機器アースはED、ELBアースはED(ELB)で表示。
<機器アース用> E D <ELBアース用> ED(ELB)
ハ) 室内接地線の区分: 目視にて区分可能なよう、ELBアースの端末キャップは黄色を取付。
<機器アース用接地線> <ELBアース用接地線>
黄色 黄色

端子盤製作仕様書

1. 4. 1 一般事項
1. 4. 2 端子盤等

<構造仕様>

イ) 端子盤キャビネット

主要部材

構 成 部	標準厚さ (mm)	材 質
ボ ッ ク ス	t1.6以上	鋼 板
前 面 枠 及 ビ ド ア	同 上	同 上
取 付 板	t1.5以上	木 板

注) 鋼板は、SPHC、SGHC等を使用します。
SUS鋼指定の場合は、t1.2mm以上とします。

- ロ) ハンドルは図中に示します。
ハ) 壁名板は、施工者銘板、製造者銘板の取付は、図中に示します。（壁名板はドア表面の上部取付。）
ニ) ドア付法が横断700mm超過は両開きとします。
ホ) セパレータはt3.0合成熟鋼板とします。
ヘ) TV機器取付面は、増幅器を取付する場合は放熱口を設けます。
ト) 図面ホルダーは、透明遮熱性樹脂板を使用し、原則として扉裏面に取付します。
但し、取付スペースがない場合は、この限りではありません。

<塗装仕様>

塗 装 部 分	標 準 色
壁 表 面 色	ボックス・ドア チャンネルベース □22-90B(2.5Y9/1準参考) 5分ツヤ □壁は日建工の色見本発行年表記を要します
壁 内 面 色	同 上

(指定色の場合は図中に記入します)

